

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	男女共同参画共生社会学習・安全課		男女共同参画共生社会学習・安全課長 安里 賀奈子口	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	障害者基本計画(平成30年3月30日閣議決定) ニッポン一億総活躍プラン(平成28年6月2日閣議決定) 第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2020(令和2年7月17日閣議決定)			
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費			
施策	1-6 男女共同参画・共生社会の実現及び学校安全の推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-1_6.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	平成26年の障害者権利条約の批准や平成28年の障害者差別解消法の施行等も踏まえ、学校卒業後の障害者が社会参加を果たし、地域社会の一員として豊かな生活を送ることができるよう、障害者の主体的な学びの支援、障害の有無に関わらず共に学ぶ場づくりを推進する。このことを通じ、社会における障害者の多様な活躍を促進し、共生社会の実現を目指す。							
現状・課題 (5行程度以内)	特別支援学校高等部の卒業生の進路として、学校基本調査によると、その約9割が就労又は障害福祉サービスの利用となっている。令和4年度「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」における障害者本人を対象としたアンケート調査では、「現在生涯学習に取り組んでいる」と回答した障害者の割合は、20.7%であり、学校卒業後の障害者の多くが、学びを継続できていない現状にあると想定される。また、同調査で、生涯学習の機会があると思うかどうかを尋ねたところ、「十分に機会はある」「ある程度機会はある」と回答した割合は、38.2%であり、障害の有無に関わらずともに学び、生きる共生社会の実現のために、障害者の生涯学習機会確保のための整備が急務である。							
事業概要 (5行程度以内)	学校卒業後の障害者について、学校から社会への移行期や人生の各ステージにおける効果的な学習に係る具体的な生涯学習プログラム・実施体制等に関する研究開発(平成30年度開始→令和2年度終了)や、都道府県が中心となった地域コンソーシアムの形成、市区町村が民間団体等と組織的に連携、大学等における生涯学習機会の創出等の地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究(令和2年度以降)、障害者それぞれの障害特性を踏まえた学びの充実に向けた調査研究等の取組を行うとともに、これらの成果を全国に普及・発信するため、コンファレンスや障害者参加型フォーラム等の取組を実施する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index.htm							
実施方法	直接実施、委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	115.7	115.9	134.4	141.4	151.8	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	115.7	115.9	134.4	141.4	151.8		
	執行額(G)		83.9	75.9	105.7			
	執行率(%) =(G)/(F)		73%	65%	79%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		73%	65%	79%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		教育政策推進費		-			
	(目)		教育政策推進事業委託費	119.1				127.2
	(目)		庁費	12.1				14.0
	(目)		委員等旅費	4.2				4.4
	(目)		諸謝金	3.5				3.6
	(目)		職員旅費	2.5				2.5
			その他	0				0.1
	計(A)		141.4	151.8				

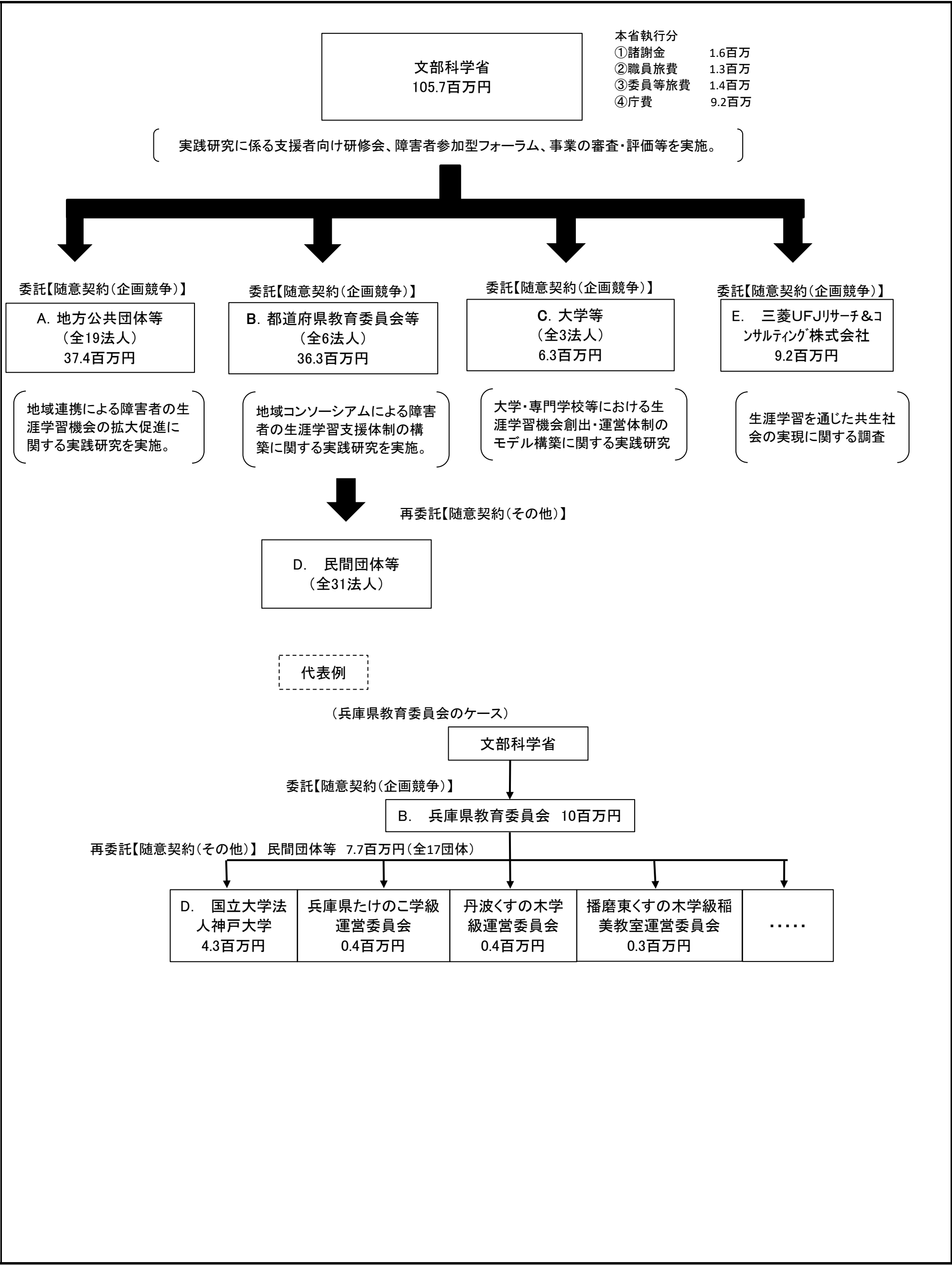
活動内容① (アクティビティ)		「地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究」(ア)地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築(R2～):都道府県(指定都市)が中心となり、大学や特別支援学校、社会福祉法人、地元企業等が参画する障害者の生涯学習のための地域コンソーシアムを形成し、持続可能な支援体制(ネットワーク)を構築する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		都道府県(指定都市)が主体的に体制構築等を行い、障害者の生涯学習支援に取り組む。	累積委託箇所数	活動実績	箇所	4	8	14	-	-
				当初見込み	箇所	3	8	18	24	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	都道府県の設置したコンソーシアムに域内の市町村が参加したり、都道府県の開催するコンファレンスに参加(視聴)した市町村内で、県や近隣地域の先進的な取組を参考にした連携や実践が進み、持続可能な障害者の生涯学習支援体制の構築に向けて、各種計画に障害者の生涯学習を位置付ける自治体が増える。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		教育振興基本計画や障害者計画等に「障害者の生涯学習」に関する目標や事業を位置付けている市区町村数の増加	教育振興基本計画や障害者計画等に「障害者の生涯学習」に関する目標や事業を位置付けている市区町村数	成果実績	件数	-	-	-	-	
				目標値	件数	-	-	-	1,100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		令和元年度:876市区町村 文部科学省実施「地方公共団体における障害者の生涯学習の推進に係る実態調査」※次回令和6年度調査予定								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	生活に密着した住民サービスを行う市区町村の各種計画に障害者の生涯学習が位置付けられることで、障害者の生涯学習支援が明確に推進され、障害者の学校卒業後の生涯学習の機会が充実する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		障害者等の学校卒業後の学習やスポーツ・文化等の活動の機会が充実する	障害者本人等(家族)が身近に生涯学習の機会があると回答(アンケート調査)する割合	成果実績	%	-	-	38.2	-	
				目標値	%	-	-	-	50	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		平成30年度:34.3%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の阻害要因・促進要因等に関する調査研究－」 令和4年度:38.2%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－障害者の生涯学習活動に関する実態調査～地方公共団体及び障害者の生涯学習活動に関する実態調査～」 ※次回令和9年度調査予定								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		「地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究」(イ)地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進(R3～):障害者の生涯学習のノウハウが乏しい市区町村が、実績ある民間団体等と組織的に連携し、主に公民館等の社会教育施設における、障害当事者のニーズや地域資源等を踏まえた包摂的な生涯学習プログラムを開発・実施し、その横展開を目指す。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		障害者の生涯学習プログラムが市区町村レベルで広く実施される。	累積委託箇所数 ※令和3年度開始メニュー	活動実績	箇所	－	18	38	－	－
				当初見込み	箇所	－	18	48	68	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	委託事業により、多様な担い手による学習プログラムが広く実施されることで、生活に密着した住民サービスを行う市区町村において、社会教育施設等の様々な社会資源を活用した障害者の生涯学習支援活動が実施される。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		公民館・生涯学習センター等(社会教育施設)における「障害者への学習活動支援」が実施される。	公民館・生涯学習センター等(社会教育施設)が「障害者への学習活動支援」経験を有する割合	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	25	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		平成30年度:14.5%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の阻害要因・促進要因等に関する調査研究－」。※次回令和5年度調査予定。								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	多くの社会教育施設等で、障害者への生涯学習支援が実施されるようになり、障害者の学校卒業後の生涯学習の機会が充実する。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		障害者等の学校卒業後の学習やスポーツ・文化等の活動の機会が充実する	障害者本人等が生涯学習の機会があると回答(アンケート調査)する割合	成果実績	%	－	－	38.2	－	
				目標値	%	－	－		50	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		平成30年度:34.3%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の阻害要因・促進要因等に関する調査研究－」 令和4年度:38.2%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－障害者の生涯学習活動に関する実態調査～地方公共団体及び障害者の生涯学習活動に関する実態調査～」 ※次回令和9年度調査予定								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容③ (アクティビティ)		「地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究」(ウ)大学・専門学校等における生涯学習機会創出・運営体制のモデル構築:大学への進学が困難な障害者にとっての新たな学びの場として大学・専門学校等における生涯学習プログラム等を開発・実施する。(令和4年度～)								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		大学・専門学校等における障害者の学びのモデルを構築する	累積委託箇所数(令和4年度～)	活動実績	箇所	－	－	3	－	－
				当初見込み	箇所	－	－	3	9	－
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	大学等による専門性を活かした主体的に取り組む障害者の学びのモデルを構築することで、全国の都道府県や市町村で多様な担い手と連携した障害者の生涯学習機会拡大の取組に参画している大学数が増加する。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		大学等が実施する障害者の生涯学習プログラムが増える	「地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究」に参画する大学等の累計数	成果実績	件数	－	6	8	－	
				目標値	件数	－	－	9	14	
				達成度	%	－	－	88.9	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業の「地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究」委託事業 実施報告								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	全国各地の大学等で障害者が参加可能な学習プログラムが増えることにより、障害者の生涯学習の機会が広がり、また、大学等の専門性を活かした質の高い学習プログラムを提供することで、生涯学習に取り組む障害者の増につながる。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		大学等における公開講座等の専門性を活かした学習プログラムに参加する障害者が増える	生涯学習の手段や場所を問うアンケートにて、大学等における公開講座等への参加(オンライン参加を含む)と回答した割合	成果実績	%	－	－	13.5	－	
				目標値	%	－	－		16	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		令和4年度:13.5%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－障害者の生涯学習活動に関する実態調査～地方公共団体及び障害者の生涯学習活動に関する実態調査～」 ※次回令和9年度調査予定								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	大学等が専門性を活かして実施する障害者の学習プログラムが増えることにより、障害者の学校卒業後の生涯学習の機会が充実する。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		障害者等の学校卒業後の学習やスポーツ・文化等の活動の機会が充実する	障害者本人等(家族)が身近に生涯学習の機会があると回答(アンケート調査)する割合	成果実績	%	－	－	38.2	－	
				目標値	%	－	－	－	50	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		平成30年度:34.3%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の阻害要因・促進要因等に関する調査研究－」 令和4年度:38.2%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究－障害者の生涯学習活動に関する実態調査～地方公共団体及び障害者の生涯学習活動に関する実態調査～」 ※次回令和9年度調査予定								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		障害者の生涯学習に関する普及・啓発:社会教育関係者や特別支援教育関係者、行政職員、福祉施設職員など、様々な分野の参加者を想定し、実践研究事業等の研究成果の普及や実践交流等のために各地域別のコンファレンス(実践研究集会)、当事者等も参画する全国フォーラム(障害理解啓発の場)を展開する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		コンファレンス等を全国各地で開催し、各地での障害者の生涯学習の取組等の普及を図る。	コンファレンス等の開催回数	活動実績	箇所	8	9	13	-	-
				当初見込み	箇所	8	9	13	14	-
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	コンファレンス等の回数や種類(地域別、テーマ別等)、参加形式(対面、オンライン、ハイブリッド等)が増えることで、全国各地で参加機会が拡大し、参加人数が増える。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		各地で開催されるコンファレンスの参加者増(オンライン含む)	各地で開催されるコンファレンスの参加者数(オンライン含む)	成果実績	人数	1,528	1,509	2,211	-	
				目標値	人数	1,600	1,800	2,000	2,500	
				達成度	%	95.5	83.8	110.6	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業の「地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究」委託事業 実施報告								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	各地の好事例共有や取組の成果の普及、実践者の交流の場であるコンファレンス等の参加人数が増えることで、障害者の生涯学習支援において中核的な役割を担う人材の重要性や役割の認知が広まり、市区町村において、専門的な知見を有するコーディネーター(障害者の生涯学習の企画や調整、実施を担う人、個別のニーズに対して学習機会等の紹介・コーディネートを行う人を含む)の設置が進む。								
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		市区町村における障害者の生涯学習に関するコーディネーター人材の増加	市区町村における障害者の生涯学習に関するコーディネーター人材のいる自治体の割合	成果実績	%	-	-	16.1	-	
				目標値	%	-	-	-	28	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		平成29年度:4.2%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究―障害者の生涯学習活動に関する実態調査―」 令和4年度:16.1%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究―障害者の生涯学習活動に関する実態調査～」 ※次回令和9年度調査予定								
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	市区町村にて、専門的な知見を有するコーディネーター(障害者の生涯学習の企画や調整、実施を担う人、個別のニーズに対して学習機会等の紹介・コーディネートを行う人を含む)の設置が進むことで、障害者の生涯学習に関する機会創出につながり、障害者の学校卒業後の生涯学習の機会が充実する。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		障害者等の学校卒業後の学習やスポーツ・文化等の活動の機会が充実する	障害者本人等(家族)が身近に生涯学習の機会があると回答(アンケート調査)する割合	成果実績	%	-	-	38.2	-	
				目標値	%	-	-	-	50	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		平成30年度:34.3%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究―学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の阻害要因・促進要因等に関する調査研究―」 令和4年度:38.2%「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究―地方公共団体及び障害者の生涯学習活動に関する実態調査―」 ※次回令和9年度調査予定								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.			
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
	人件費	コーディネーター、事務スタッフ雇用経費	1.6	再委託費	神戸大学、タケノコ学級運営委員会、楠学級運営員 会、青い鳥学級運営委員会等〇	7.7	
	雑役務	コンファレンス配信業務、情報保障(手話通訳)等	0.5	消耗品費	トナー、コピー用紙、付箋紙、ファイル等	0.5	
	諸謝金	委員等出席謝金等	0.4	借損料	連携協議会、コンファレンス会場使用料等	0.5	
	一般管理費	他費目小計の10%	0.3	諸謝金	委員、講師謝金等	0.4	
	消費税相当額	人件費×10%	0.2	印刷製本費・通 信費	チラシ・リーフレット等	0.5	
	印刷製本費・通信費	チラシ・リーフレット	0.2	旅費	委員、講師等旅費	0.1	
	旅費	講師、ボランティア旅費	0.1	雑役務費	情報保障(手話通訳・要約筆記)	0.3	
	借損料	講座・コンファレンス会場使用料	0.1				
	消耗品費・会議費	プリンターインク、コピー用紙等	0.1				
	計		3.5	計		10	
	C.			D.			
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
	人件費	コーディネーター、指導者雇用経費	2	雑役務費	コンファレンス企画・運営、動画配信・制作	4	
	消耗品費	視線入力ソフトウェア、ワイヤレスマイク等	0.4	印刷製本費	コンファレンスチラシ制作	0.9	
	一般管理費	他費目小計の10%	0.3				
	諸謝金	コンファレンス出演者謝金	0.2				
	雑役務費	成果報告動画作成	0.2				
	消費税相当額	(人件費・通勤手当)×10%	0.2				
	旅費	訪問カレッジ旅費	0.1				
	通信運搬費	訪問カレッジ等郵送料	0.1				
	計		3.5	計		4.9	
	E.			F.			
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
	人件費	研究員人件費	4.9				
	雑役務費	Webアンケート作業一式	2.9				
	一般管理費	他費目小計の10%	0.8				
	消費税相当額	人件費の10%	0.5				
	諸謝金	有識者ヒアリング謝金					
	計		9.1	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック		

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	8010005016792	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	3	随意契約(企画競争)	20	100%	－
2	社会福祉法人一麦会	2170005001314	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	3	随意契約(企画競争)	20	100%	－
3	特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ	7080405003179	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	3	随意契約(企画競争)	20	100%	－
4	特定非営利活動法人春日井子どもサポートKIDS COLOR	7180005016372	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	2	随意契約(企画競争)	20	100%	－
5	特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所	6011005003799	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	2	随意契約(企画競争)	20	100%	－
6	特定非営利活動法人ポラリス	2370805000569	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	2	随意契約(企画競争)	20	100%	－
7	重度障害者・生涯学習ネットワーク		地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	2	随意契約(企画競争)	20	100%	－
8	NPO法人障がい児・者の学びを保障する会	7011605002126	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	2	随意契約(企画競争)	20	100%	－
9	特定非営利活動法人杏	6180005015862	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	2	随意契約(企画競争)	20	100%	－
10	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会	9140005001616	地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進	2	随意契約(企画競争)	20	100%	－
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	兵庫県教育委員会	8000020280003	地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築	10	随意契約(企画競争)	6	100%	－
2	北海道教育委員会	7000020010006	地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築	6	随意契約(企画競争)	6	100%	－
3	大分県教育委員会	1000020440001	地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築	5	随意契約(企画競争)	6	100%	－
4	東京都教育委員会	8000020130001	地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築	5	随意契約(企画競争)	6	100%	－
5	秋田県教育委員会	1000020050008	地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築	4	随意契約(企画競争)	6	100%	－
6	宮崎県	4000020450006	地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築	4	随意契約(企画競争)	6	100%	－

